

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Drawing		
○保護者評価実施期間	令和6年 1月 15日 ～ 令和7年 1月 15日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○従業者評価実施期間	令和6年 1月 15日 ～ 令和7年 1月 15日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○訪問先施設評価実施期間	令和6年 1月 15日 ～ 令和7年 1月 15日		
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	8	(回答数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	知識、経験、実践スキルのあるスタッフを配置し、訪問先から専門的なスタッフが訪問することへの安心感を持ってもらえていること	Drawingでの発達検査の受検結果を訪問先へ共有させていた だいている。また、Drawingを通所されている利用者さんの場合は、 Drawingでの課題設定や目標も共有した状態で訪問がスタートできている。	今後は不登校気味のお子さんへの支援も充実させていきたい と思います。そのため、来年度より、不登校児支援及び訪問支援経験のある 心理職を配置予定です。
2	瀬戸市相談支援センターの相談員さんの協力を得られていること	普段より、支援計画やモニタリング、実施報告書などを共有 することで、関係作りを大切にしている事業所として認識してもらえよう 努めている。	必要に応じて相談員さんの力を借りながら今後もお子さんと 保護者さんのために尽力していきます。
3	ABAやPECSなど、効果が実証されている支援方法を元に支援を行っているこ と	お子さんが園や学校でより快適に過ごせるよう、Drawingでできるように なったことや支援方法など、必要に応じて実践のテクニックをお伝えしてい る。	エビデンスの高い支援方法をお伝えするスキルを磨いていく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	園や学校に訪問可能な、専門的スタッフが少ない	多機能型事業所のため、通所サービスへの人員配置及び人材育 成が中心で、保育所等訪問スタッフとしての配置及び育成は行っていない	専門スタッフ（心理職）の増員を行い、不登校児への支援も行っていきたく いです。
2	利用したいというニーズの掘り起こし	地域にまだまだ浸透していないサービスのため、興味は示していただいても 利用までは繋がらないケースがある	実際にDrawingの保育所等訪問支援サービスをご利用されて いる保護者さんの声を、評価表を通して伝えられるとよい。
3	安全計画に対する取り組みができていなかった	今年度は園や学校に安全計画の相談を行うところまで行い、 園や学校での避難訓練の様子などの聞き取り及び、今後訪問 中の災害等について、参加させていた f だきたい旨、ガイド ラインの安全計画についてお話をさせていただくに留まった。	次年度は実際に園や学校での安全対策に関して、訪問先の方 針の則って参加させていただく方針です。